

2022年3月期 決算補足説明資料

2022年5月11日

スマート社会のその先へ 真空技術で支える豊かな未来

株式会社 昭和真空

証券コード：6384

東証スタンダード

2022年3月期決算概況

2021年度 決算概況 (連結)

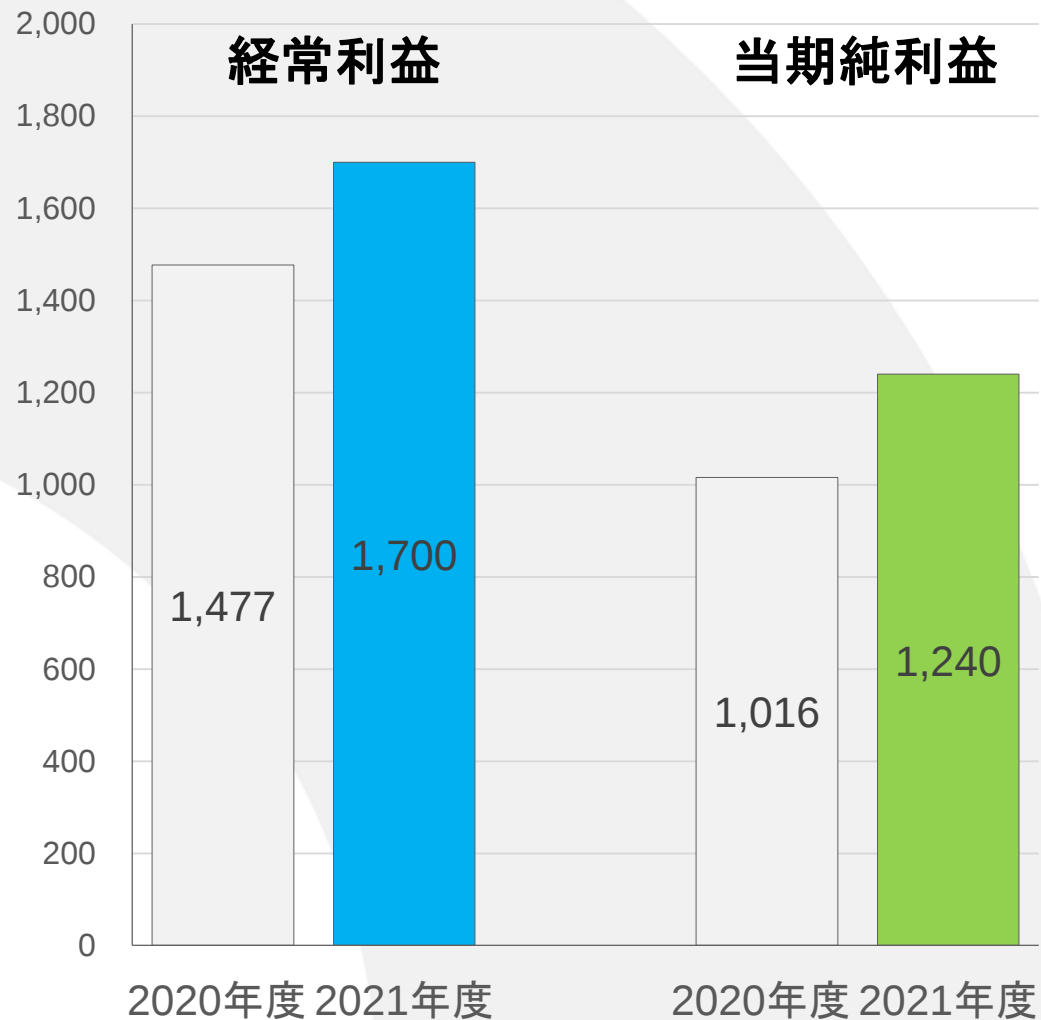
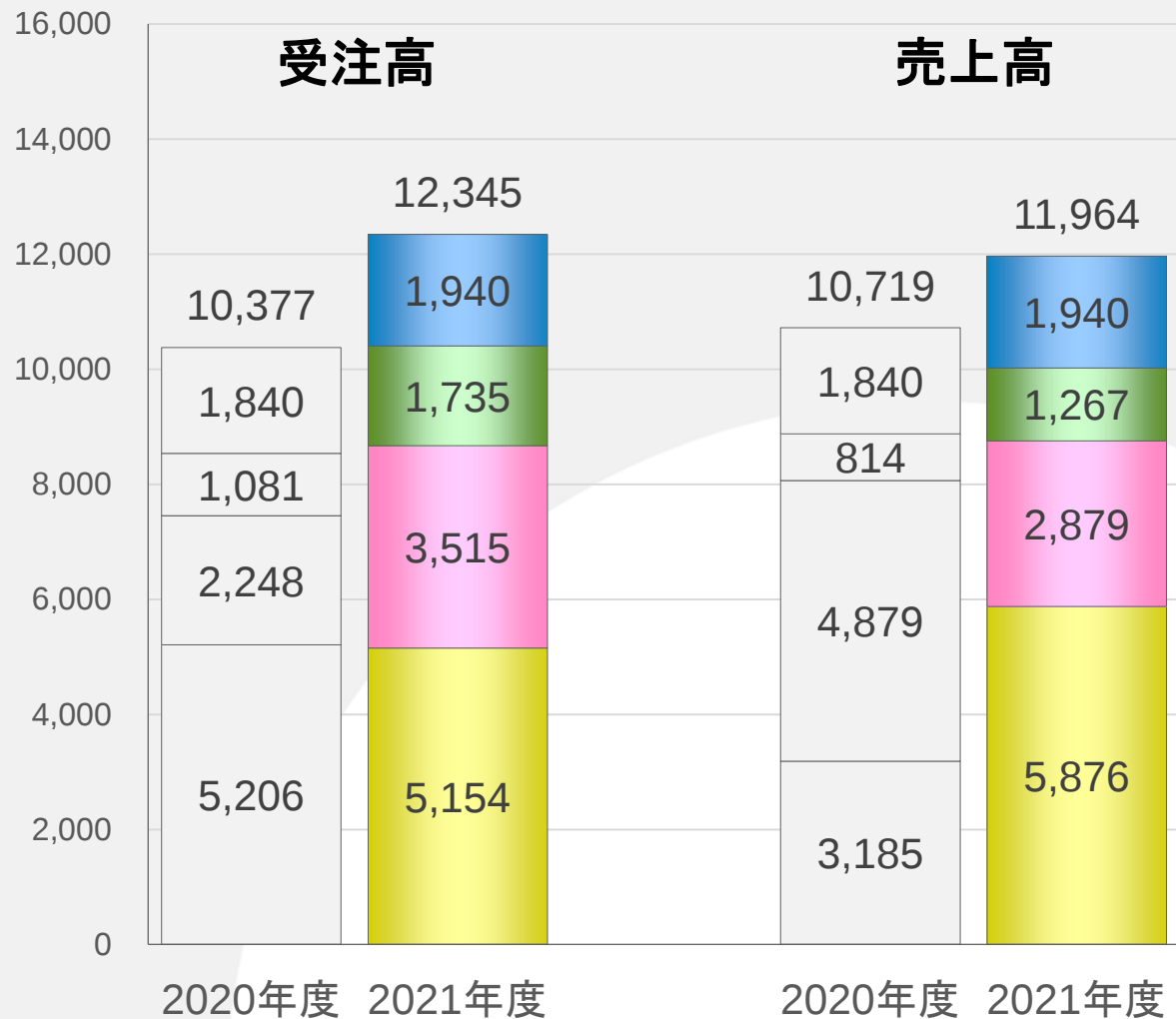
(百万円)	2020年度		2021年度			
	実 績		実 績		対前期	
	金額	百分比	金額	百分比	増減額	率
受 注 高	10,377	—	12,345	—	1,968	19.0%
売 上 高	10,719	100.0%	11,964	100.0%	1,244	11.6%
営 業 利 益	1,406	13.1%	1,670	14.0%	264	18.8%
経 常 利 益	1,477	13.8%	1,700	14.2%	223	15.1%
当 期 純 利 益	1,016	9.5%	1,240	10.4%	223	22.0%

2021年度の事業概況

受注・売上・利益（連結）

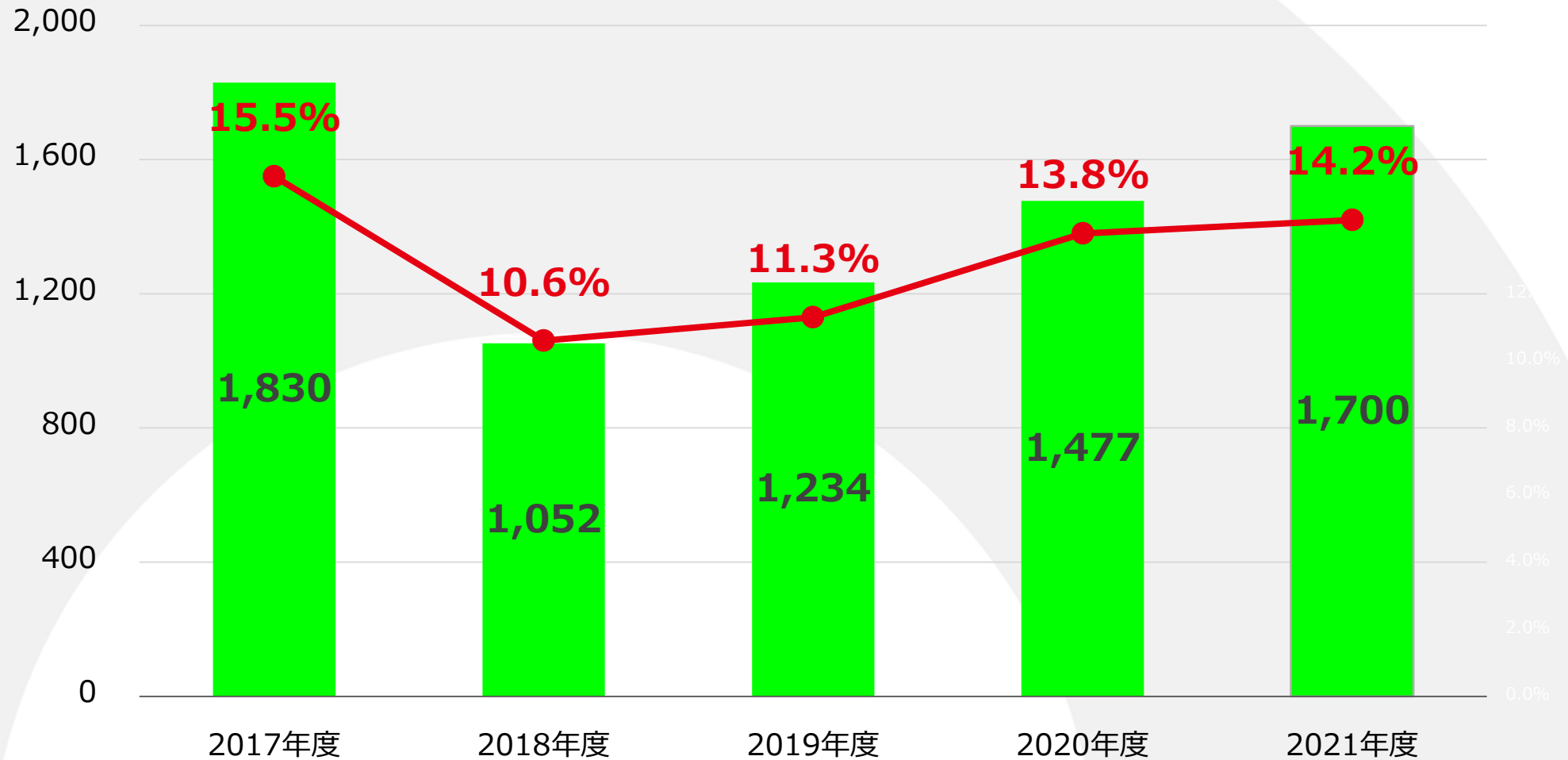
（単位：百万円）

■ 水晶 ■ 光学 ■ 電子他 ■ サービス



経常利益の推移 (直近5ヵ年、連結)

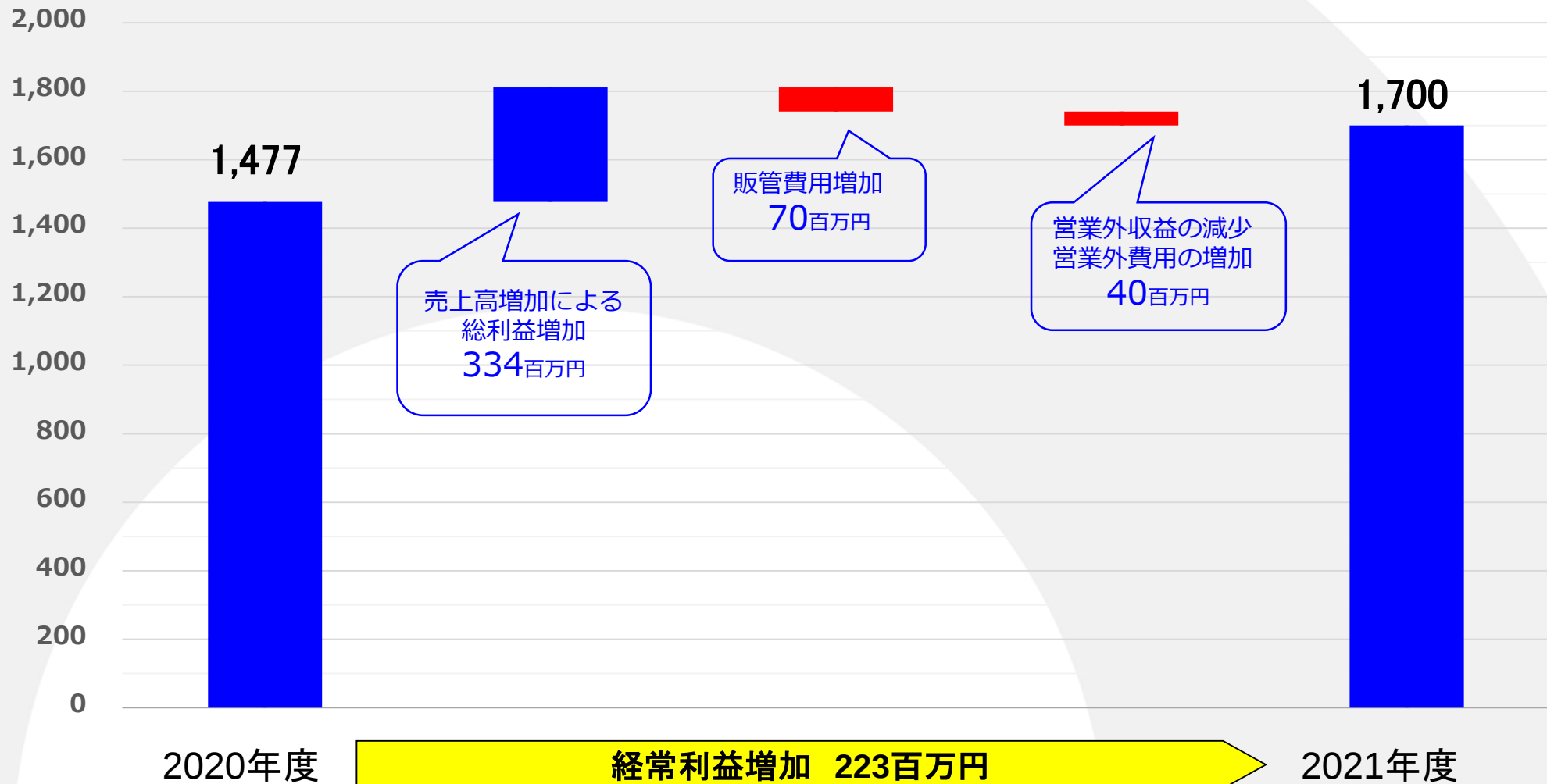
(単位：百万円)



売上高	11,824	9,943	10,934	10,719	11,969
-----	--------	-------	--------	--------	--------

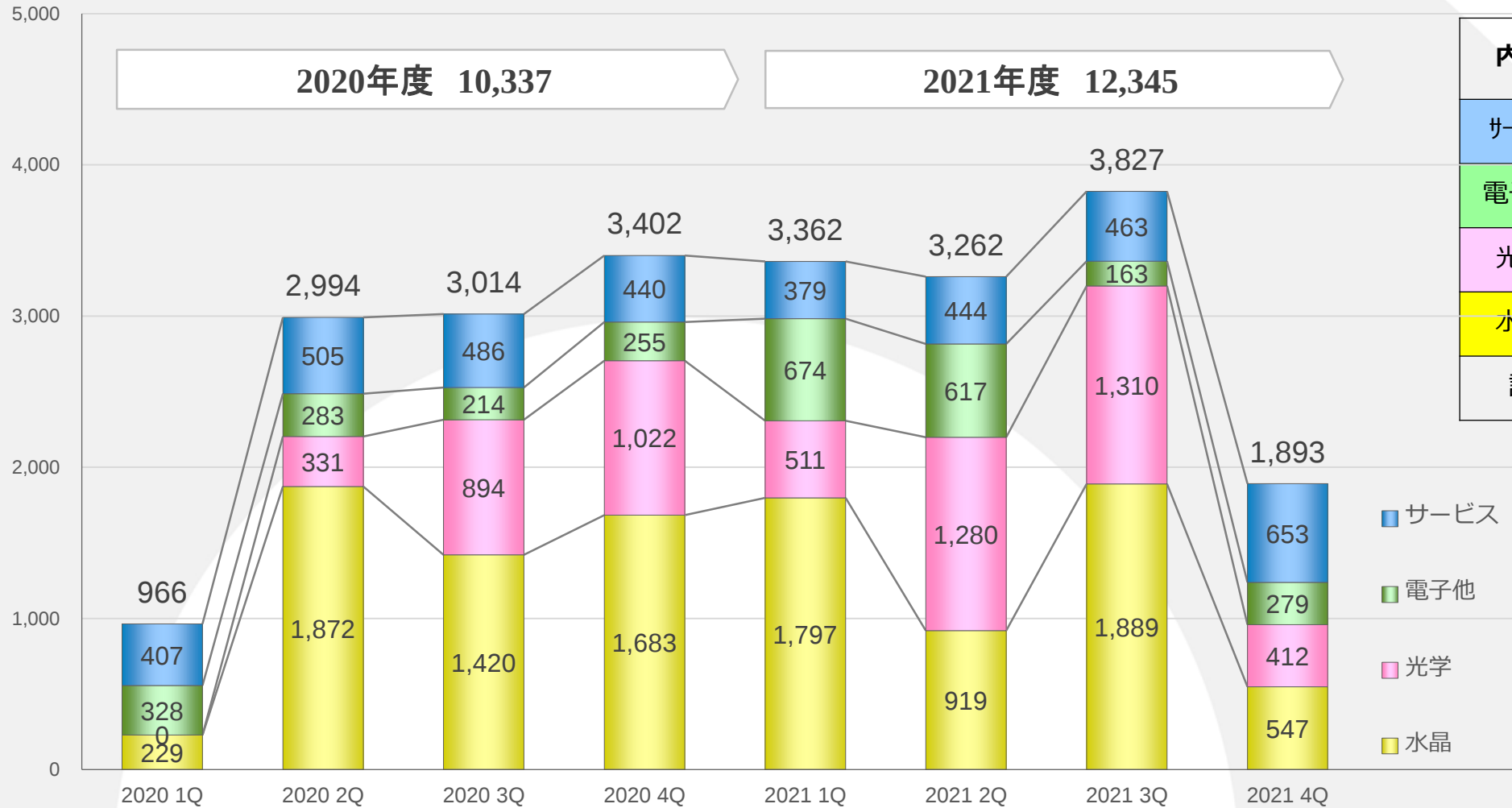
経常利益の増減要因分析 (連結)

(単位：百万円)



受注高業界別推移 (四半期、連結)

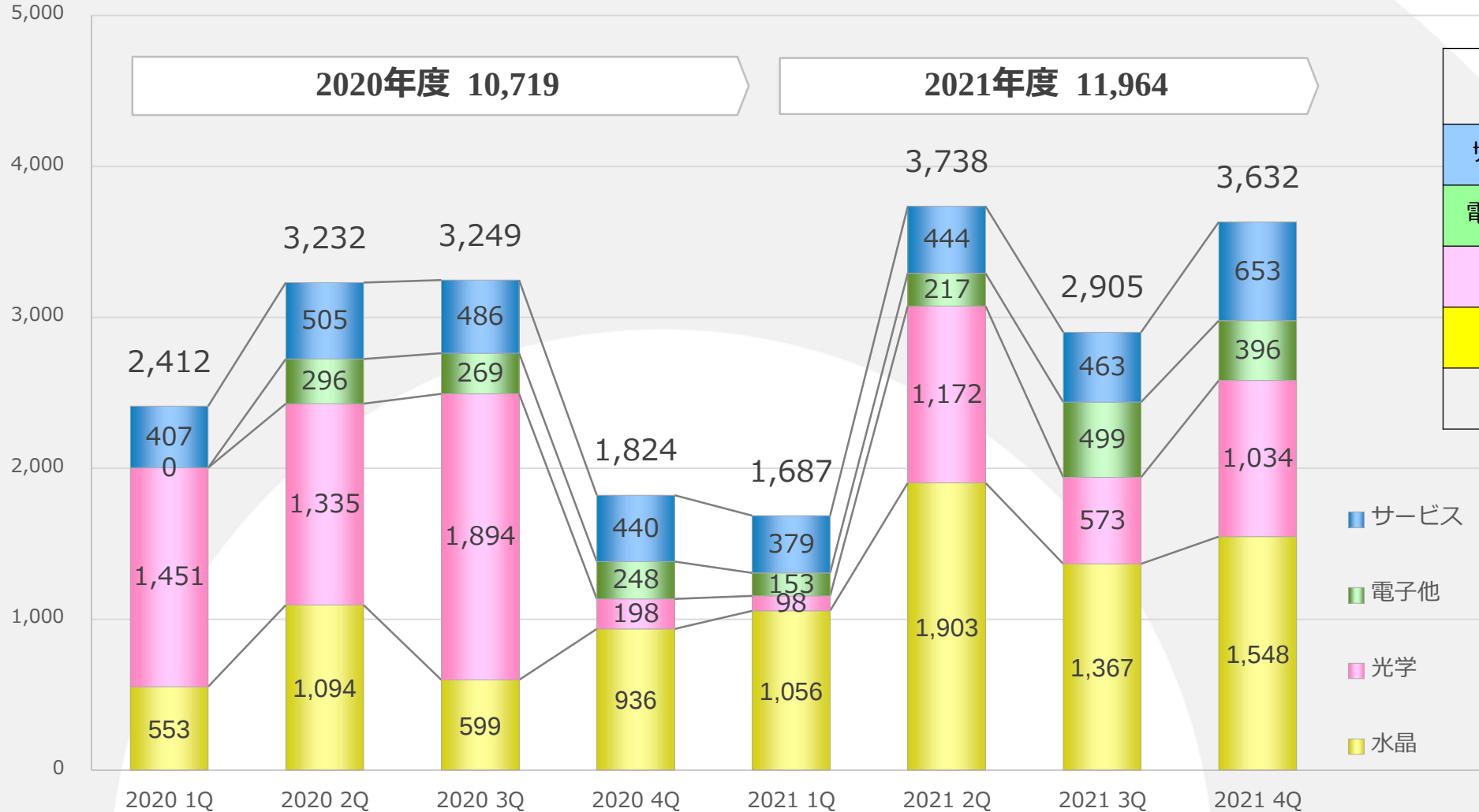
(単位：百万円)



内訳	前年同期	2021通期
サービス	1,840	1,940
電子他	1,081	1,735
光学	2,248	3,515
水晶	5,206	5,154
計	10,377	12,345

売上高業界別推移 (四半期、連結)

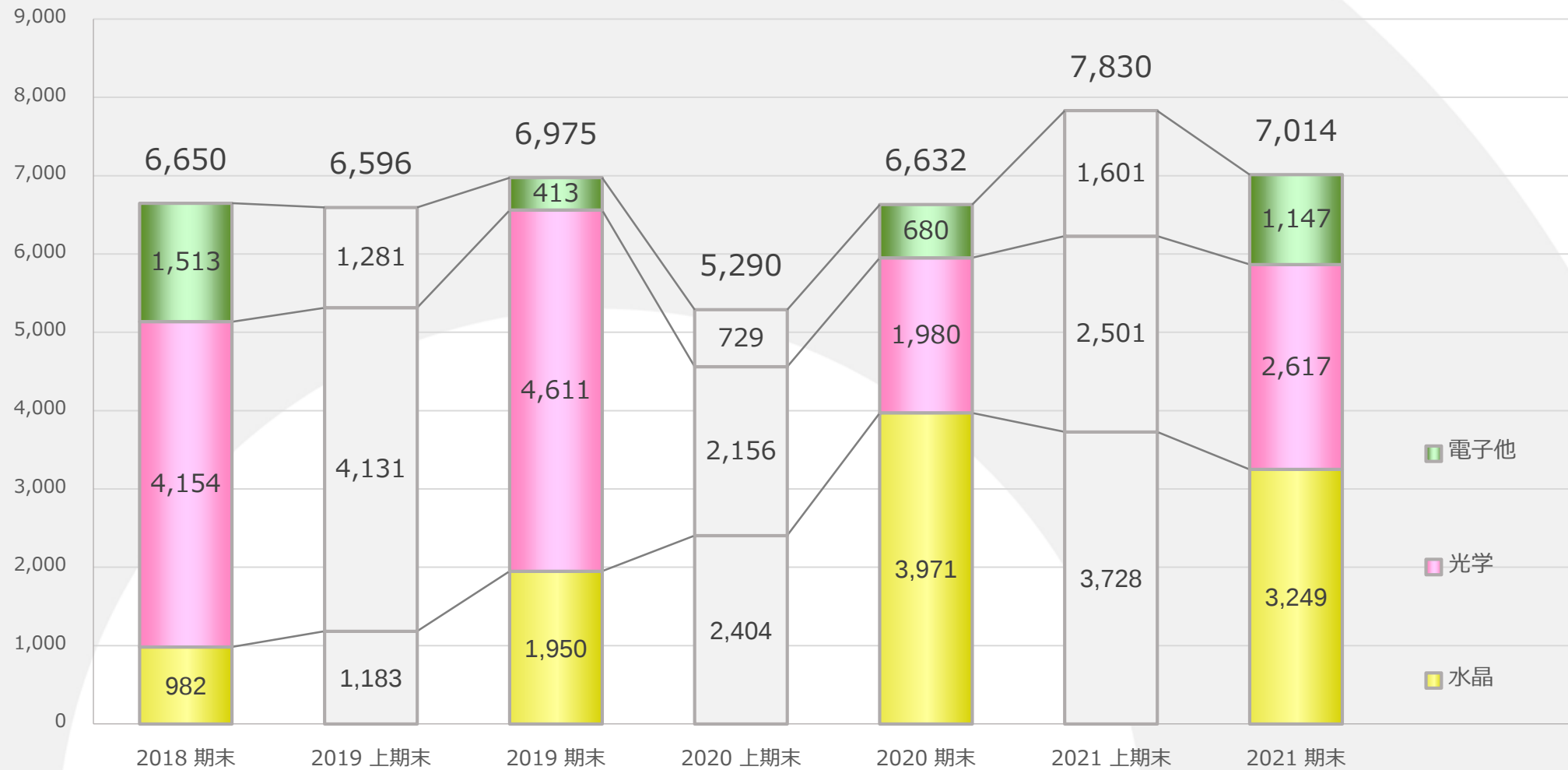
(単位：百万円)



内訳	前年同期	2021通期
サービス	1,840	1,940
電子他	814	1,267
光学	4,879	2,879
水晶	3,185	5,876
計	10,719	11,964

受注残業界別推移 (連結)

(単位：百万円)



貸借対照表 (連結)

(単位：百万円)

	2020度末	2021度末	増減額	主な増減要因
資産合計	15,312	17,398	2,085	
流動資産	11,265	13,389	2,124	現金及び預金 ▲279 売上債権 1,957 仕掛品 339
固定資産	4,047	4,008	▲38	
負債合計	5,304	6,341	1,036	
流動負債	4,930	5,376	445	仕入債務 41 1年以内償還予定社債 ▲450 前受金 708 未払法人税等 80
固定負債	374	965	590	社債 450 長期借入金 92
純資産合計	10,007	11,057	1,049	

借入依存度 3.4%

自己資本比率 63.6%

固定比率 36.3%

キャッシュ・フロー計算書 (連結)

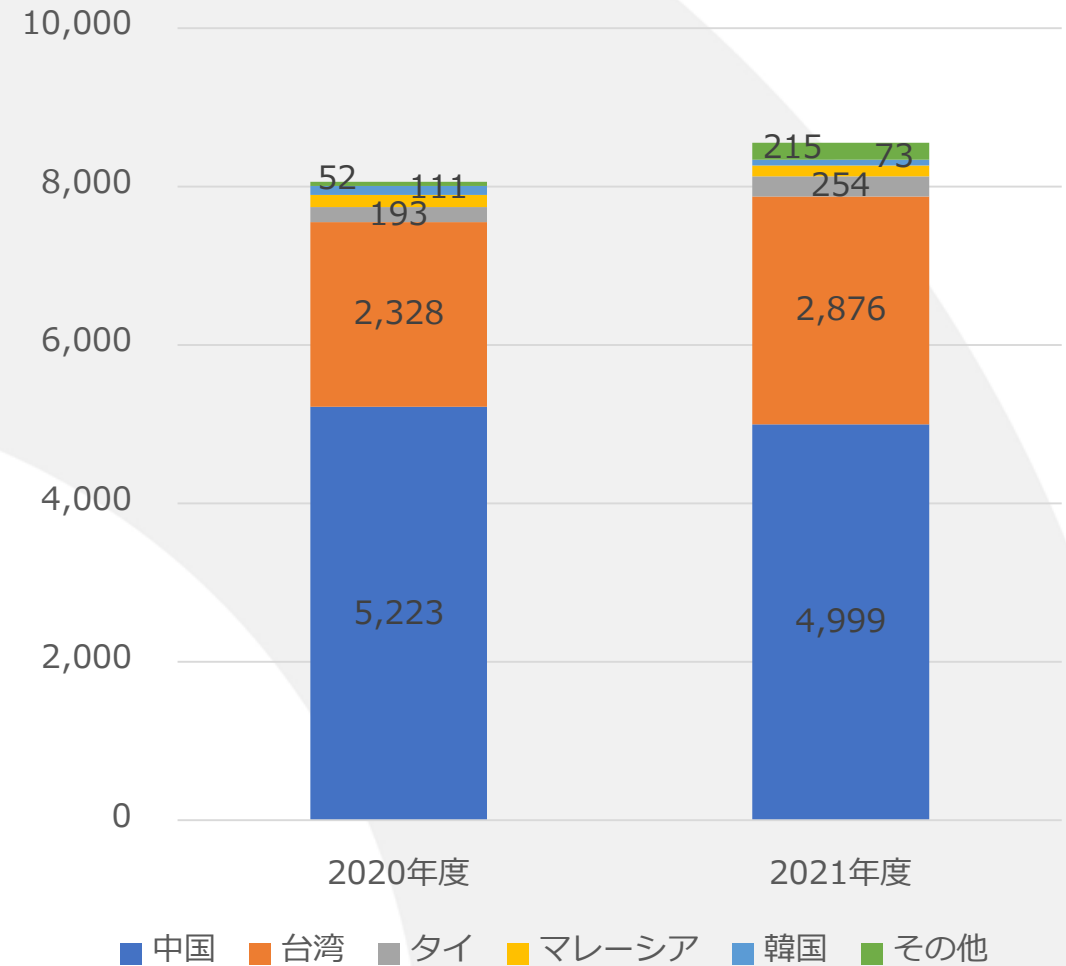
(単位：百万円)

	2020年度	2021年度	主な要因
営業活動によるキャッシュフロー	2,387	113	税金等調整前当期純利益 1,700 売上債権の増加 ▲1,939 たな卸資産の増加 ▲361 仮受金・前受金の増加 719 未収還付消費税の減少 103
投資活動によるキャッシュフロー	▲390	▲201	有形固定資産の取得 ▲199
財務活動によるキャッシュフロー	▲381	▲347	配当金の支払 ▲374
現金及び現金同等物に係る換算差額	35	151	
現金及び現金同等物の増減額	1,651	▲284	
現金及び現金同等物の期首残高	3,645	5,296	
現金及び現金同等物の期末残高	5,296	5,012	

輸出先国別売上高推移 (連結)

(単位:百万円)

	2020年度	2021年度
中国	5,223	4,999
台湾	2,328	2,876
タイ	193	254
マレーシア	153	139
韓国	111	73
その他	52	215
合計	8,062	8,558
輸出割合	75.2%	71.5%



1. デバイスメーカの次世代電子部品開発に対応（サンプル成膜・依頼実験）。
2. 国内外の水晶デバイスメーカの増産設備投資が継続。
3. 光学デバイスメーカの設備投資は第2Q後半以降回復傾向だが、継続的な増産投資には至らず。
4. 電子・その他業界では、新規市場の開拓に注力。加飾、医療及びIoT関連分野、並びに大学等研究開発機関からの受注獲得。
5. 新型コロナウイルス感染症（以下、「感染症」）の影響により一部事業活動に制限（海外渡航制限、納品地における行動制限等）。
6. 第3Qから資機材の調達環境悪化の影響を受けるも、代替品切替えなどの対策を行い、生産への影響を極力回避。
7. 装置の共通モジュール部分の効率的な組立、品質管理体制強化による初期不良抑制により利益確保。

2023年3月期の見通し 【2022年度】

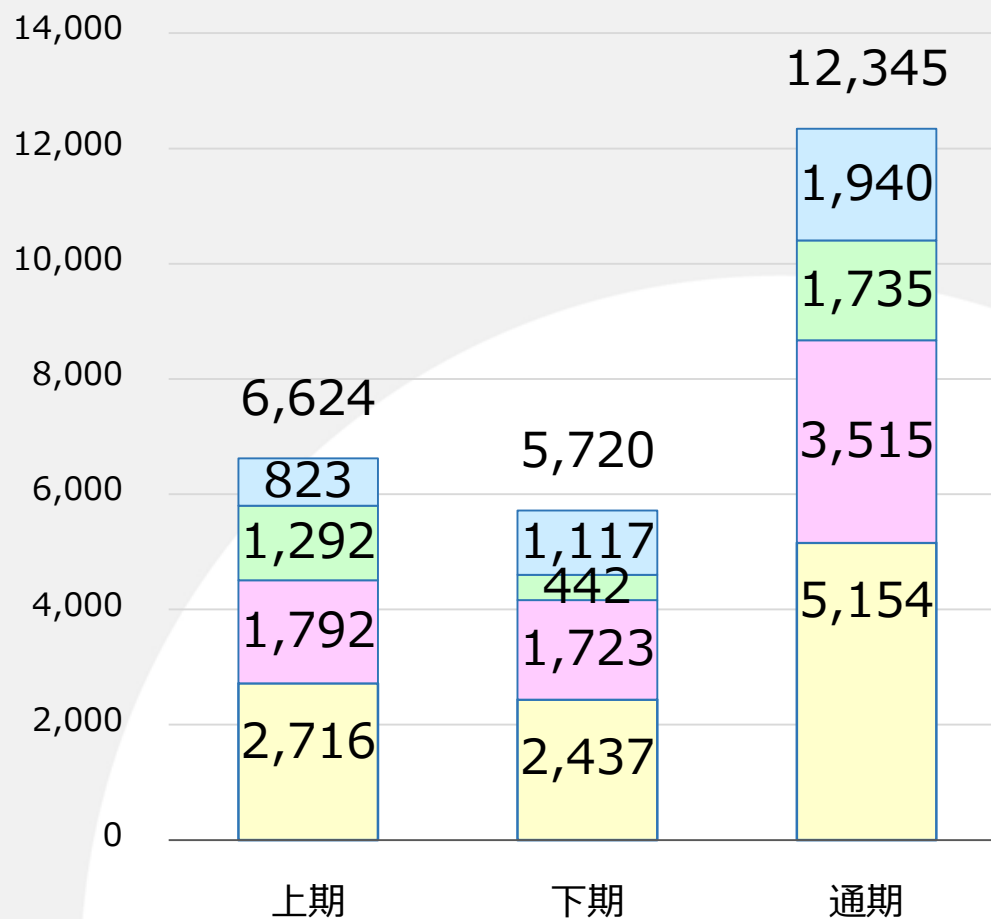
2022年度 連結業績予想

	2021年度		2022年度 業績予想			
	金額	百分比	金額	百分比	増減額	増減率
受 注 高	12,345	—	12,500	—	154	1.3%
売 上 高	11,964	100.0%	12,500	100.0%	535	4.5%
営 業 利 益	1,670	14.0%	1,570	12.6%	▲100	▲6.0%
経 常 利 益	1,700	14.2%	1,609	12.9%	▲91	▲5.4%
当 期 純 利 益	1,240	10.4%	1,081	8.6%	▲159	▲12.8%

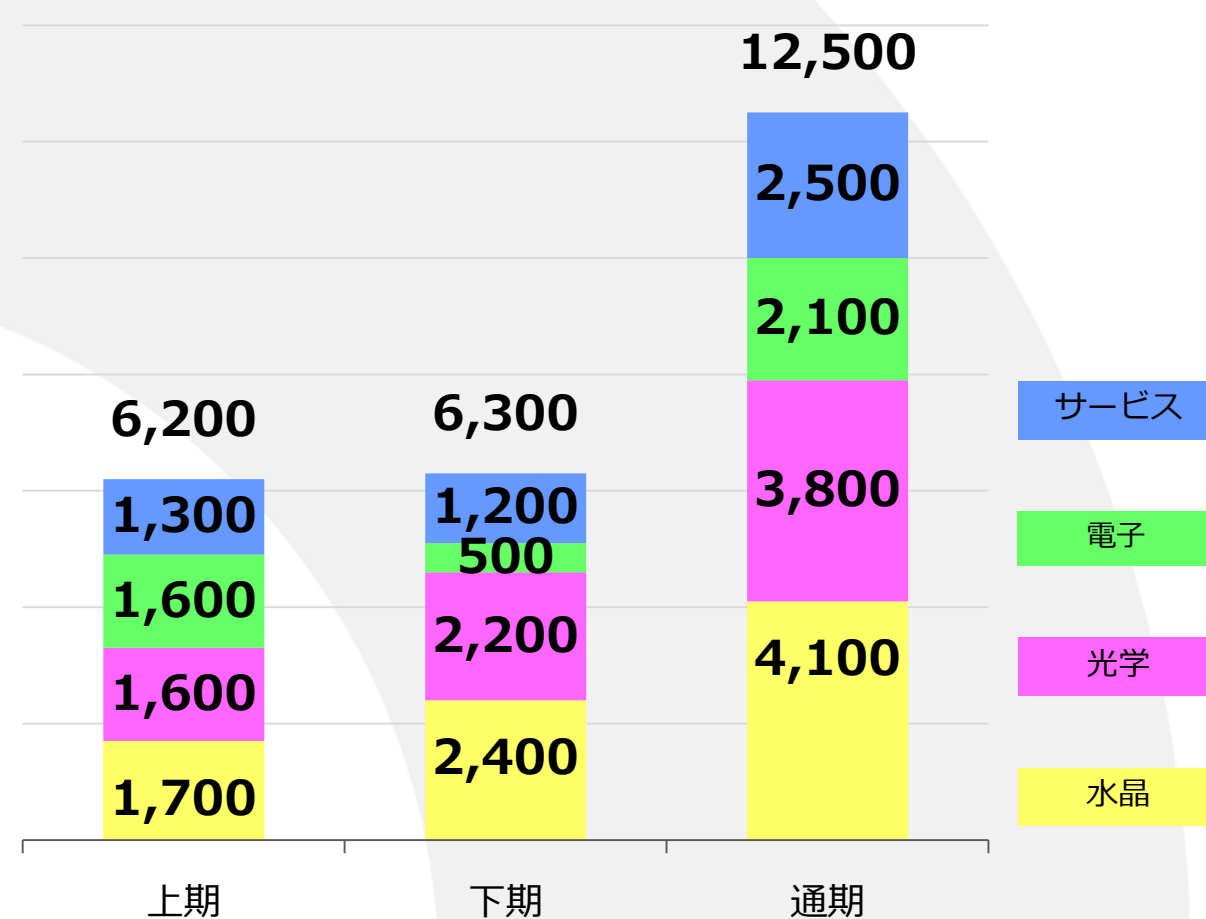
※ 実際の業績等は、今後の社会状況や経済状況（感染症再拡大に伴い日本及び当社装置を納入する国や地域で行動制限が強化・継続された場合や装置製造に必要となる資機材の調達環境がさらに悪化した場合を含むがそれに限られない。）の推移によっては大きく異なる可能性があります。

(単位：百万円)

【 2021年度 】

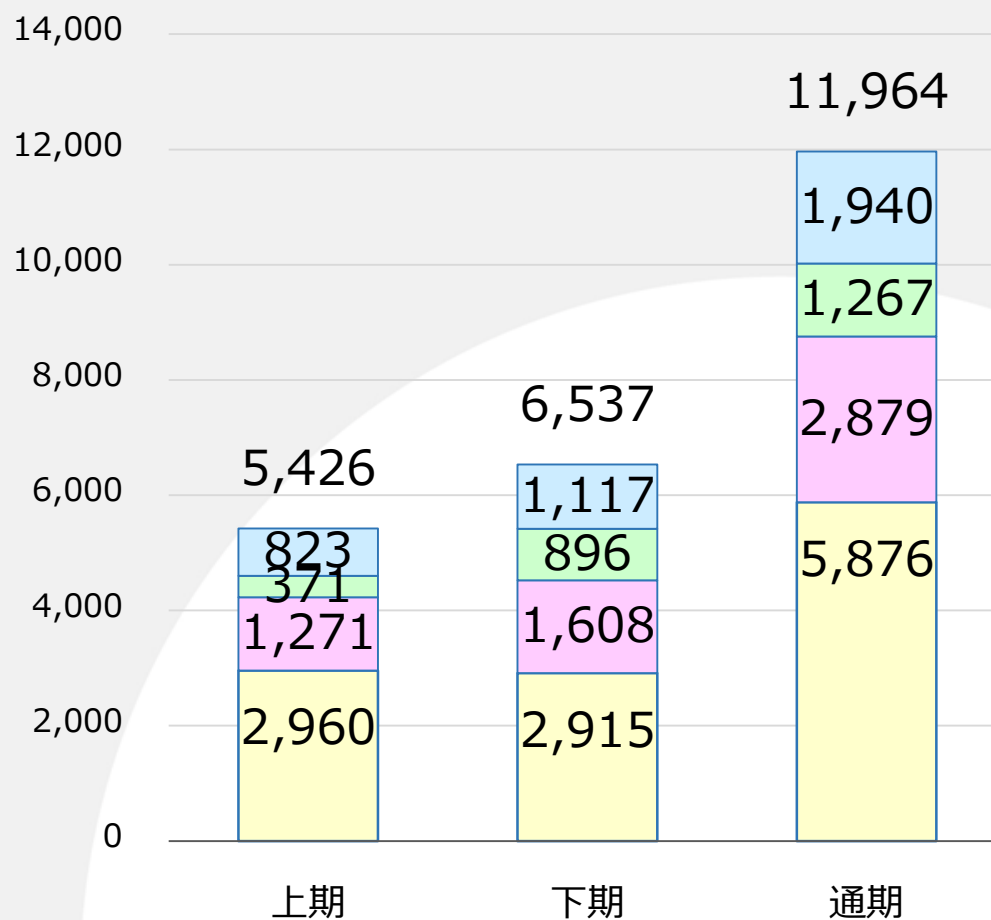


【 2022年度計画 】

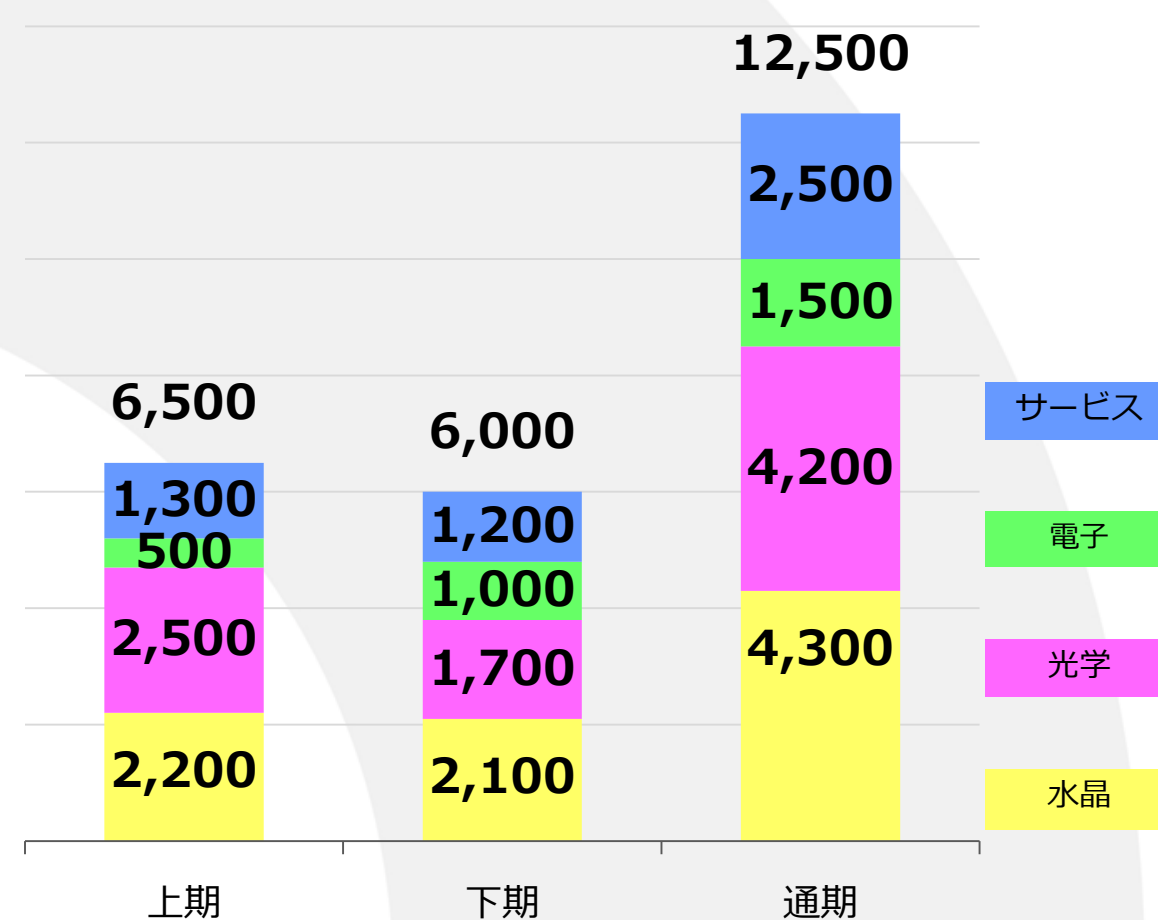


(単位：百万円)

【 2021年度 】

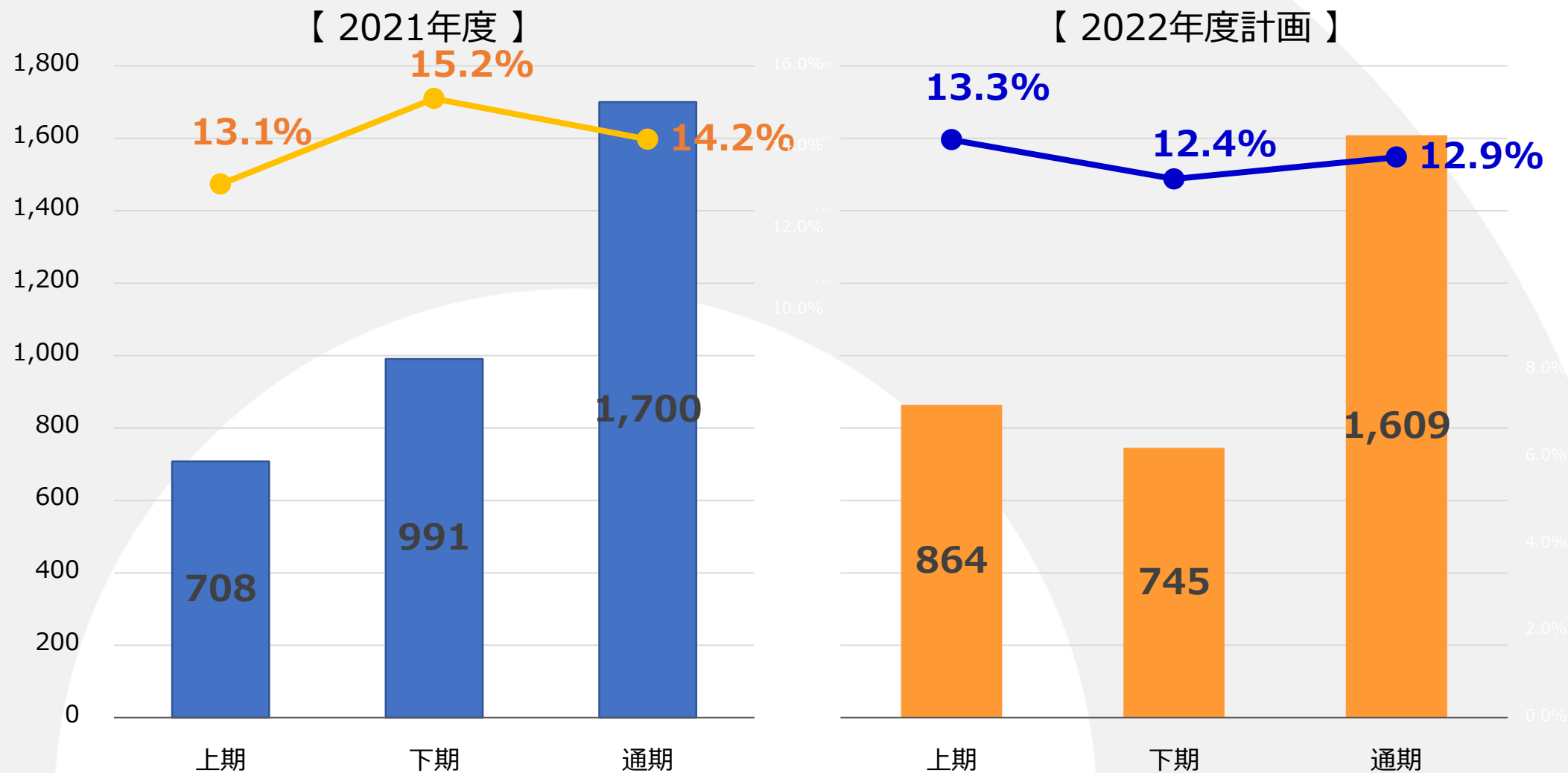


【 2022年度計画 】



2022年度 経常利益（率）（連結）

（単位：百万円）



(単位: 百万円)

	2021年度	2022年度計画
設備投資額	193	165
研究開発費	583	546
減価償却費	304	255

1. 戦略装置の開発と市場投入（各分野）
微細加工、表面処理（平坦化）、生産性向上、環境負荷軽減
2. 顧客や大学等研究開発機関との共同開発実施と成果の実現
最先端要素技術を活用した新たな製品やサービス実現に向けたデバイス開発へ関与
3. 装置標準化（仕様共通化、製造工程標準化）の進展による生産効率改善
ユニット単位の仕様共通化、組立ナビゲーター対応のモジュール拡大
4. 品質管理体制の強化
初期不具合情報などの社内連携及び品質検査体制強化
5. 海外子会社との連携強化
営業、生産・アフターサービス強化等
6. 感染症への対応（継続実施）
地域社会、取引先、従業員安全確保、海外子会社を含めた生産体制の整備、等
7. 資機材の長納期化への対応（継続実施）
予測に基づく先行発注、代替品切替、柔軟な生産体制等

《注意事項》

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。

そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おき願います。



株式会社 昭和真空
SHOWA SHINKU CO., LTD.